

2023 年度運営方針

1. 検定試験と登録更新を実施する。
2. 地盤品質判定士および地盤品質判定士補の利活用を推進する。
3. 協議会の運営を効率化する。

2023 年度運営方針(案)に基づく活動項目

1. 検定試験と登録更新を実施する。
 - (1) 検定試験
 - ・試験制度の維持（試験会場・検定試験実施日の確定、作問・採点・結果の分析、DB の維持管理）
 - ・受験の手引き等を 4 月上旬に協議会の website で公開
 - ・受験に関する広報活動（出版社に対する掲載依頼、マスコミへの情報提供、過去問集の販売）
 - ・判定士補に対する二次試験受験の働きかけ
 - ・受験要件の拡大（資格、受験要件付与講習会等）
 - (2) 登録更新
 - ・登録者の管理（判定士・士補の名簿管理、更新の働きかけ、更新漏れの後追い）
 - ・登録更新制度の維持（e-ラーニング講習、自己申告書の審査、FAQ の更新）
 - ・次世代登録更新制度の検討（講習会テキスト、e-ラーニング講習コンテンツ）
 2. 判定士・士補の利活用を推進する。
 - (1) 判定士会法人の運用
 - ・法人による国や各自治体との連携および、各地域での事業展開（協定締結、地盤相談など）
 - ・法人の広報活動（メール、DM、セミナー等の活用）
 - (2) 資格の活用
 - ・国交省・自治体および建築団体、地盤保証・保険会社等への判定士・士補の有効活用促進
 - ・司法支援（裁判所に対する鑑定人・専門委員・調停委員の推薦）
 - (3) 広報活動
 - ・判定士・士補の知名度向上（マスコミとの連携、公的機関や民間が発行する書籍、セミナー等）
 - (4) その他
 - ・判定士・判定士補の役割の明確化
 - ・判定士業務に関わる賠償責任保険の整備
 3. 協議会運営の効率化を図る。
 - (1) 組織
 - ・判定士会の独立に向けた自立性の向上
 - ・協議会運営に伴う効率化、永続的な組織構築、メンバー交代に伴う担当業務引継ぎの簡素化
 - (2) 財務
 - ・財務体質の改善、構成団体との連携強化
 - (3) 情報
 - ・判定士通信を活用した情報発信
 - ・定款・規則・規程等の見直し、変更
 - ・協議会構成団体に対する定期的な情報提供
-

2023 年度検定試験・登録更新実施要領骨子

検定委員会 2023.2.7
監理委員会 2023.2.20
理事会 2023.3.8

【検定試験実施要領骨子（案）】

1. 検定試験実施日：10 月第 4 日曜 ⇒ 10 月 22 日(日)
*10/15（日）宅建，一級建築施工管理技士二次検定，10/29（日）住品協の技術者認定資格試験
2. 受験要件資格の拡大：資格要件拡大と受験要件付与講習会の追加
3. 試験会場：札幌，仙台，東京，名古屋，大阪，福岡の計 6 会場とする。
*名古屋会場を新設
2022 年度と同様に出席者数に関わらず実施する。
4. 受験手引等公開：2023 年 4 月 3 日（月）協議会 Web
5. 出願期間(Web)：2023 年 5 月 8 日(月)～6 月 30 日(金)
6. 合格発表(Web と葉書き)：2024 年 1 月 12 日(金)
7. 登録期間(Web)：2024 年 1 月 15 日(月)～2 月 5 日(月)
8. 受験料・登録料：諸般の社会情勢を鑑み，今年度は 2016～2022 年度の料金から 1,000 円値上げする。

受験料(税込)				登録料(税込)			
区分	2013 年～	2016 年～	2023 年	区分	2013 年～	2016 年～	2023 年
一次のみ受験	7,560 円	10,000 円	11,000 円	判定士	10,800 円	13,000 円	14,000 円
二次のみ受験	10,800 円	13,000 円	14,000 円	判定士補	7,560 円	10,000 円	11,000 円
一次・二次受験	14,040 円	17,000 円	18,000 円	—	—	—	—

9. 試験会場および試験会場運営委員：原則として各地域の判定士が主導で運営する。
10. 受験票と合格通知はハガキ郵送から電子化し，PDF 版をメール配信する（経費縮減）。
⇒試験当日に，受験票を机の上に置く必要性，合格通知の葉書通知の必要性を確認する。

【過去問題集頒布価格】

諸般の社会情勢を鑑み，過去問題集頒布価格を 2023 年 4 月 1 日より下記の通り値上げる。

【電子版】

- ・2013 年度版，2018 年度版～2021 年度版：各 1,000 円→各 1,500 円
- ・2014-2018 年度版合本版：2,700 円→3,500 円

【製本版】 ※製本版は，2013-2017 年度版だけが年に数冊申込みがあります。

- ・2013-2015 年度合本版 1000 円→1,500 円
- ・2013-2017 年度合本版 2360 円→3,000 円
- ・2016 年単年度版 1000 円→1,500 円

・2017年単年度版 1000円→1,500円

【登録更新制度に伴う登録更新（案）】

1. 申請受付：2023年8月1日(火)～9月11日(月)
2. 更新時講習会：実施しない
3. 更新時講習会（eラーニング）：2023年11月13日（月）～2023年12月19日（火）
4. 更新事務：2023年12月中旬から
5. 更新時講習会（eラーニング）費用：18,000円（2022年度17,000円）

諸般の社会情勢を鑑み、今年度は2022年度の料金から1,000円値上げする。

6. 登録更新料：上表の登録料と同じ

-以上-